

報 道 資 料

平成28年8月31日

連絡先 奈良県 健康福祉部 長寿社会課
課長補佐 倉田 (内線2851)
総務・生きがづくり推進係
俵元 (内線2855)
0742-27-8524 (ダイヤル)

平成28年度「老人の日・高齢者保健福祉月間」の行事について

1. 趣旨

わが国は世界でも有数の長寿国となって久しく、誰もが健康で、安心して生きがいを持った生活を送ることのできる活力ある長寿社会を築くことが大切になっています。

意欲と能力のある高齢者には社会の支え手となってもらうと同時に、支えが必要となった時には、周囲の支えにより自立し、人間らしく生活出来る尊厳のある超高齢社会を実現することが必要であり、また、高齢者自らが高齢期のあり方に感心と理解を深めるとともに、県民一人ひとりが家庭、職場、学校、地域社会等において、高齢者との関わりを深めていくことも重要です。

このような観点から、本県では、関係2団体とともに「老人の日・高齢者保健福祉月間」を設け、以下の目標を掲げ、高齢者福祉に関する各種事業を実施します。

2. 期間

平成28年9月1日～30日までの1か月間

3. 標語

「みんなで築こう 安心と活力ある健康長寿社会」

4. 主唱

奈良県、(社福)奈良県社会福祉協議会、(一財)奈良県老人クラブ連合会

5. 目標

「老人の日」を契機として、誰もが生きがいを持ち、健康で安心して生活できる長寿社会、自立・参加・協力による明るく豊かな長寿社会を目指して、次の6つの目標を掲げ、高齢者の保健・福祉の向上及び社会参加を図るための活動を進めます。

- (1) すべての高齢者が安心して自立した生活ができる、保健・福祉のまちづくりを進め、ふれあいの輪を広げよう。
- (2) 高齢者の知識、経験や能力をいかした、就労・社会参加・ボランティア活動を進めよう。
- (3) 高齢者の生きがい・健康づくり、介護予防への取り組みを進めよう。
- (4) 高齢者の人権を尊重し、認知症高齢者への支援のあり方や介護問題等をみんなで考え、高齢者や介護者を支える取り組みを積極的に進めよう。
- (5) 超高齢社会における家族や地域社会等の役割を理解し、お互いに協力して安心と活力ある長寿社会をつくろう。
- (6) 減災や防災への取り組みに関心を持ち、日頃から地域でのつながりを築こう。

< 主な行事 >

1 県実施の敬老事業等

(1) 副知事による長寿者訪問

県内男女最高齢者の方に祝状及び記念品『奈良絵マグカップ「登り窯」』を贈呈

日時	訪問先	年齢 (9月1日現在)	備考
9月7日(水) 15:10～15:40 訪問時の取材可能	宇陀市室生下田口 1216番地 特別養護老人ホーム 「室生園」 びんご 備後 クラ様	110歳 (明治38年10月20日生)	県内最高齢者 (女性) *住民票は曾爾村
取材不可	匿名希望	107歳 (明治42年2月4日生)	県内男性最高齢者

*男性は平成27年度より男性最高齢者である。

(2) 百歳お祝い

新百歳高齢者の方に祝状及び記念品「置き時計」を贈呈

2 平成28年度 長寿と健康の祭典 表彰式

日時 平成28年9月15日(木) 午後1時30分～
場所 奈良県庁5階 第一会議室
表彰式 奈良県知事表彰
老人福祉功労者 : 15名
老人福祉施設功労者 : 2団体、3名
優良老人クラブ : 19クラブ
(一財)奈良県老人クラブ連合会会長表彰
優良老人クラブ : 26クラブ
感謝状 : 6名

○関連イベント

(1) 奈良県高齢者美術展(8月25日、報道発表済)

展示期間:平成28年9月2日(金)から平成28年9月7日(水)

表彰式:平成28年9月6日(火)午前10時30分～

開催場所:奈良県文化会館 集会室A・B

出品数:282点

(2) ならシニア元気フェスタ(奈良県高齢者スポーツ文化交流大会)

開催期間:5月14日(土)・15日(日) (実施済み)

開催場所:県立橿原公苑、県社会福祉総合センター 他

競技種目:弓道、グラウンド・ゴルフ、ゲートボール、サッカー、水泳
ソフトバレーボール、ソフトボール、太極拳、卓球(ラージボール)、
テニス、ペタンク、マラソン、ウォークラリー、将棋、囲碁、
健康マージャン(16種目)

参加者数:2,503名

※成績上位者等は「第29回全国健康福祉祭ながさき大会
(ねんりんピック長崎2016)」に派遣
(開催期間:平成28年10月15日(土)～18日(火))

3 県内市町村の関連行事

別添一覧表のとおり

<参考>

1 奈良県百歳以上長寿者の推移

(敬称略)

年 度	百歳以上長寿者数*			最高齢者（年齢は9月30日現在）	
	男	女	計	氏 名	年 齢（歳）
平成 元	7	36	43	中 伊藏	107
2	9	39	48	森本 りょう	106
3	8	31	39	藤田 トミエ	103
4	13	35	48	藤田 トミエ	104
5	14	47	61	奥方 アキノ	103
6	18	53	71	富田 兼太郎	103
7	15	61	76	富田 兼太郎	104
8	18	76	94	赤土 タマ	104
9	24	92	116	中川 誠一郎	104
10	24	94	118	久保 なみ	104
11	28	121	149	松本 春江	105
12	32	131	163	松本 春江	106
13	31	160	191	松本 春江	107
14	40	190	230	松本 春江	108
15	33	223	255	鉄本 芳江	106
16	57	275	332	五百田 たつの	107
17	64	317	381	五百田 たつの	108
18	64	349	413	五百田 たつの	109
19	78	395	473	五百田 たつの	110
20	78	459	537	津田 アキエ	110
21	74	520	594	岡本 眞	109
22	77	592	669	毛利 キヌ	109
23	114	644	758	毛利 キヌ	110
24	107	712	819	毛利 キヌ	111
25	102	738	840	匿名希望	111
26	117	790	907	匿名希望	112
27	100	845	945	匿名希望	113

※毎年9月1日現在の人数。

平成28年度の百歳以上長寿者数については、9月1日現在で取りまとめ発表の予定。

2「老人の日・高齢者保健福祉月間」について

昭和22年（1947年）に兵庫県多可郡野間谷村（現：多可町）で行われた敬老行事がきっかけとなり、昭和25年（1950年）、9月15日を「としよりの日」としようとする敬老・福祉の県民運動が開始されました。

昭和26年（1951年）、中央社会福祉協議会（現：全社協）が全国運動を提唱し、9月15日から21日までの1週間を運動週間として、「老人を敬い慰め、励ますとともに、老人福祉に対する国民的理解を促進し、老人自身もまたその立場を自覚し、新しい社会建設に参加する」ことをうたって様々な活動が推進されました。

「としよりの日」は、後に「老人の日」を経て昭和41年（1966年）に国民の祝日「敬老の日」へと発展しました。そして、平成13年（2001年）の老人福祉法の改正により、9月15日が「老人の日」、同月21日までの1週間が「老人週間」と定められました。

本県では、この「老人の日・老人週間」キャンペーンを拡充して、老人の日を含む9月1日から30日までの1ヶ月間を「老人の日・高齢者保健福祉月間」と定めています。

〔参考〕敬老の日

「国民の祝日に関する法律」の改正により、平成15年（2003年）から毎年9月の第3月曜日が国民の祝日（休日）の「敬老の日」となりました。